

## 研究・安全関連事項

34 研究に当たっては自分の体のみでなく、他の人にも迷惑をかけないように常に注意し、安全を心がけること。実験時は(保護)めがねを必ず着用し、事故の被害を最小限に食い止められる体制をとること。靴下を必ずはくこと。

35 自分の実験に使用している試薬等の性質を十分に理解し (MSDS の利用)、ガス・悪臭・有毒物質を拡散しないようにすること (ドラフトやボンベ反応室の使用)。においを出す研究者はその資質が疑われる。

36 有機廃液は可燃性とハロゲン系に分けて廃棄瓶に捨てること。絶対に流しに流してはならない。また、廃棄瓶中の溶媒は放置せず直ちに高压反応室のポリタンクに廃棄すること。カラム後の試験管や抽出後のフラスコも同様である (水槽にも有機溶媒が溶解していることを理解すること)。プラッテ上に放置しないこと。

37 エバポレーター及び溶媒トラップの溶媒は直ちに高压反応室のポリタンクへ廃棄する。放置しないこと。酸や塩基をエバポレートした後はメタノール等の適当な溶媒で洗浄すること。特にダイヤフラムポンプは、定期的に空運転してポンプ内の有機溶媒を完全に排除しなくてはならない。

38 ガラス器具等は速やかに洗浄しその回転効率を常に考慮すること。また、各自の責任で乾燥後決まった場所に確実に収納すること。

39 器具類・機器類の正しい使用法の体得に努め、無駄な処理や操作を減少する努力をすること。操作の意味を常に考えながら実験すること。

40 プラッテ周辺に箱などの障害物を置かないこと。また、椅子も整然と配置しておくこと。安全確保のため重要である。安全のため背もたれのついた椅子はプラッテ前の実験用には使用してはならない。また、各机に備え付けてある椅子及び、プラッテに備え付けてある丸椅子は勝手に移動してはならない。必ずもとの場所に戻すこと。

41 ドラフト・真空ポンプ (トラップを含む)・天秤・器具乾燥機・ダイヤフラムポンプ・真空ラインには院生の責任者をつける。責任者はその管理を厳密に行い、不適格な使用者の指導をすること。

42 基本的にドラフト、換気扇のスイッチは切らないこと。部屋の換気に努めること。

43 誤って器具・器械・備品を破損した場合は速やかに届け出ること。なお、破損費の集計は破損の被害削減の目的で行っているものであり、遊びではない点を認識しておくこと。回収した破損費はエンディングコンパの景品に充てる。

44 使用していないアスピレーターや、冷却水ポンプは停止しておくこと。エバポレーターを使用したままで食事など長期間席を外さないこと。

45 注射器・注射針・ディスポの手袋等は廊下に設置したバイオハザード廃棄物ポリ容器に廃棄すること (ポリ容器のふたを確実に閉めておく)。ポリ容器がいっぱいになったら、速やかに澤間助教に報告し処分の指示を受けること。

46 TLC 板や破損したガラスは、プラッテ上に放置せず、速やかにガラスくず入れに廃

棄すること。また、TLC 板を机の上に放置している学生を見かけるが、TLC のシリカゲルはバイオハザード指定物質であることを認識すること。

4 7 天秤の周辺に試薬・薬包紙・キムワイプ・ピペット・薬さじ等を放置しない。こぼしたり、汚染したら、自分で始末するのはあたりまえのこと。できなければ研究をする資格なし。化学薬品はすべて危険物と考え、安全のために美化に努めること。この点は、当事者の人格的な部分でもあり、基本中の基本なので、厳重な姿勢で対処する。

4 8 活性炭担持型遷移金属触媒の秤量に使用した薬包紙は、予め天秤周辺に用意したビーカー内の水につけること。ビーカー内に溜まった薬包紙は最低 1 日一回捨てる。1 日の最後に研究室を閉める者は必ずビーカー内の薬包紙と水を処理して帰宅すること。

4 9 少なくとも 1 日に 1 回は、流しに大量の水を流し、下水トラップの中に有機物が蓄積しないようにすること。

5 0 新たに購入した試薬には、容器に購入日と開封日のラベルを貼り、速やかに試薬リストにデータを入力すること。

5 1 他研究室間での試薬等の借り貸しは必ず教官の下で実施すること。

5 2 火事・爆発などの事故に遭遇したときは、大声を出すこと。当事者は動揺していて判断力が低下していることが多いため、周りのものが対処する。

5 3 研究室 4 カ所に消火器が設置されている。設置場所を確認すること。火事の規模が小さいと判断した場合にのみ、各プラッテにある消火スプレー（消すべえ）を使用し、そのほかの場合には消火器を使用する。

5 4 事故による人的あるいは物的な損傷がなくとも職員に報告すること。特に消火器はすぐに補充する必要がある。

5 5 緊急時には以下の避難経路を使用して脱出するよう試みる。エレベータは絶対に使用しない。

避難経路 1：北側（医学部側）の階段を使用して 1 階に出て、溶媒庫側の出口から脱出する。

避難経路 2：西側（メイン）の階段を使用し 1 階に出て、正面玄関から脱出する。

脱出時可能なら、コンセントを抜く

水を止める

窓を開ける